

倒伏の危険大！ 1 回目穂肥はしない！

《品質向上に向け穂肥は最小限に!!》

コシヒカリの生育は、7月5日現在、草丈長く、葉色が濃く、まだ十分な窒素が稲体にあると考えられます。慎重な穂肥対応を徹底し、品質向上に努めましょう。

1 生育状況 ~ 草丈長く、葉色濃い 出穂期は平年並み ~

【目標値との比較】

草丈（長い） 茎数（やや少） 葉数（並） 葉色（濃い）

生育調査結果（7月5日現在、普及指導センター調査ほ数值）

品種名	移植区分	草丈		茎数		葉数(L)		葉色(SPAD)	
		本年値 (cm)	目標比 (%)	本年値 (本/m)	目標比 (%)	本年値	目標差 (艸差)	本年値	目標差 (艸差)
コシヒカリ	連休植	69	109	348	71	10.5	+0.1	39.4	+4.4
	適期植	64	102	398	81	10.9	+0.5	41.0	+6.0

2 穂肥の施用時期と施肥量のめやす

移植区分	出穂期 予想	幼穂形成期 予想	1 回 目		2 回 目	
			穂肥時期	窒素施肥量	穂肥時期	窒素施肥量
連休植	8月4日	7月13日	施用しない		7月25日 (出穂10日前)	1.0kg/10a 以内
適期植	8月6日	7月15日			7月27日 (出穂10日前)	

3 2 回目穂肥施用の基準

【穂肥施用時の生育量のめやす】

基準葉色値より淡いほ場のみ、穂肥 1 kg/10a 以内を実施

葉色	葉緑素計 3.3
	葉色板 群落3.5 単葉4.0

新潟西部地域農業振興協議会

JA 越後中央・西蒲原土地改良区・西蒲区・NOSAI 新潟中央・巻農業普及指導センター